

はかた中だより

第 8 号

令和4年7月19日

校訓 自らが学ぶ

学校の教育目標

豊かな心を持ち

主体的に行動する生徒の育成

TEL: (0897) 72-1055

FAX (0897) 72-1053

新型コロナウイルスの感染防止にも気を付けなければなりません。特に、環境省から「熱中症警戒アラート」が出された日は、要注意です。学校では、WBGT（暑さ指数）に注意しています。WBGTは、人体と外気との熱のやり取り（熱収支）に着目した指数で、人体の熱収支に与える影響の大きい、①湿度、②日射・輻射など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。WBGTが28℃を超えると「厳重注意」で、持久走などの激しい運動は避ける。10～20分おきに休憩、水分・塩分補給を行う。さらに、31℃を超えると「危険」で、運動は原則禁止とされています。熱中症を防止するには、こまめな水分補給も大切ですが、規則正しい生活（十分な睡眠と朝食を摂る）が重要です。

1. 進水式を見学しました。

6月27日（月）に、2年生が、しまなみ造船で行われた進水式を見学しました。38000トン級の貨物船が進水していく様子は、厳かですらありました。造船業は、タオル産業と並ぶ今治が誇るものづくりの2大産業です。進水式を見学した2年生は、優れた技術を誇る「ふるさと今治」への愛着を深めることができたことと思います。



2. 令和4年度の生徒総会を開催しました。

6月28日（火）に、全校生徒が一堂に会して、「伯方中学校をより良くするために、自分たちにできることは何か」について話し合いました。全校生徒の前で、意見を述べるのは、大変勇気のいることです。3年生を中心として、1、2年生も堂々とした態度で意見を述べることができました。また、どの生徒の意見にも、全校生徒が尊重して耳を傾ける姿にも感動しました。挨拶運動も生徒会役員の構成についても、今以上に活性化することを期待します。



3. 第一回実力テストを行いました。

7月4日（月）・5日（火）に、3年生が、第1回目の実力テストを行いました。このテストは、高校入試に向けての力試しのテストです。テスト範囲が広く、定期テストのように、テスト勉強をしたからと言って、急に点数が上がるテストではありません。真の実力をつける必要があるのです。今回のテストでは、思うように点が取れなかった3年生が多かったことと思います。これから勝負です。まずは、夏休みに1・2年生の復習をしっかりと行いましょう。「夏を制する者は受験を制する」とも言います。特に、苦手教科を克服すると、面白いように点数が伸びます。夏休み明けの、2回目の実力テスト、期待しています。



4. 令和4年度第1回チャレンジテストを行いました。

7月6日(水)に、1年生が、第1回チャレンジテストを行いました。今回もCBT方式(Computer Based Testing)、コンピュータを用いた受験方式です。1年生も、昨年度小学校で行っており手慣れた様子で、キーボードやタッチペンを使って、スムーズに解答していました。ヘッドフォンが、とてもさまになっていました。デジタル化が、急速に広がっています。

5. ジュニアサポーター研修を実施しました。

7月6日(水)・7日(木)に、社会福祉協議会伯方支部のお力添えで、3年生が、ジュニアサポーター研修を実施しました。1日目は「はかた寿園」の方と、Grianさんのお話を伺いました。2日目は2組に分かれて、一組は、「車椅子体験」に挑戦心しました。乗り手の事を気遣って、優しく車椅子を押す姿がほほえましかったです。もう一組は、Google meetで、伯方中学校とインドネシアを結び、異文化理解に努めました。グローバル化が進む中、多様性を認め合うことが大切な時代となっています。伯方中の3年生は、豊かな心が育まれており対応できそうです。



6. 緊急講演会を開催いたしました。

7月8日(金)に、吉海町出身の、TVディレクター兼映画監督でもある、小田大河さんによる講演会が開催されました。仕事の大切さや夢を持つことが成功への秘けつであること、平和の尊さなどを、世界中の美しい自然やたくましく生きる人々の映像を織り交ぜながら、熱く語って下さいました。講演会の後には、運動場に整列した全校生徒を、ドローンで撮影してくれました。映像が届くのが楽しみです。



7. 海岸清掃を行いました。

7月12日(火)に、奉仕活動の一環として、海岸清掃を行いました。沖浦ビーチや瀬戸浜橋海岸など、島内6か所で行いました。非常に暑い中、大勢の保護者の方々に協力していただきありがとうございました。直前に、市民大清掃が行われていた関係か、沖浦ビーチ等は比較的きれいでしたが、瀬戸浜橋海岸には、缶やペットボトル、プラスチックなどが落ちていたり、北浦の海岸は奥まった場所のためか、ゴミが多く落ちていて、ゴミ袋が次々といっぱいになっていきました。故郷の海岸をいつまでも美しく保つとともに、すばらしい景観美も残していきたいものだと強く思いました。

